



# 鳥栖っ子

合言葉

～「つなぐ」～

コミュニティスクール

鳥栖市立鳥栖小学校

文責 校長 古賀 康弘



“手と手をつなぎ 心をつなぎ” みんなで助け合う みんなの笑顔のために



## ☆心豊かに！地域の方との交流を通して☆

今年度も学校運営協議会やPTA活動では、地域と子供たちをつなぐ学習支援や行事体験を大きな柱にしています。

7月に入り、6町区の祭りのメンバーの方による「鳥栖山笠の出前授業」、安楽寺の有馬さん・JAの木原さんによる「米作りの授業」、久光スプリングスの選手の方との「挨拶運動や給食訪問による交流」などがありました。子供たちが、地域の方々との様々な交流や体験活動を通して、鳥栖を愛し、ふるさとを誇りに思い、心豊かに成長することを強く願っています。



## ☆35日間の夏休みを安全・安心に！☆

明日から子供たちは、35日間の夏休みに入ります。今年の1学期も、子供たちは大きな事故や怪我などで長期欠席することなく、元気に登校してくれました。このことは、保護者様や地域の皆様が、子供たちを『つなぐ』心で温かく見守り、ご支援いただいたおかげだと深く感謝しています。

コロナが5類となって初めての夏休みです。人の動きもこれまでより大きくなることが予想されます。その中で、子供たちが、健康に楽しく安全・安心に、充実した夏休みを過ごせますよう、各ご家

庭や地域で見守っていただければ有り難いです。特に誘拐等の危険防止、交通安全（ヘルメットの着用・道路横断時は手を挙げて渡る等）、ゲーム等のルール遵守や早寝早起きなど安全で規則正しい生活を心がけるようお声かけいただければ幸いです。

## ☆諦めず挑戦！『ノミとコップ』の話☆

終業式では、私から子供たちに、今年も「ノミとコップ」の話をしました。話の内容を簡単に紹介します。『皆さんは、ノミを知っていますか？』動物の血を吸う、体長約2mm程のとても小さなムシです。ノミは、30cm位ジャンプするとされています。自分の体長の約150倍のジャンプ力があるということです。そんなノミをコップに入れ、透明の蓋をかぶせます。すると、自慢のジャンプ力でコップを跳び出そうとします。しかし、見えない蓋に当たって、何度も落ちてしまいます。暫くして、この透明の蓋を取ってやります。「ノミはどうなると思いますか？」何度も頭をぶつけたノミは、蓋を取っても高くジャンプすることができません。本当は、跳び超える力をもっているのに、「どうせできないよ」「やっても無駄だ」と自分の心にも「蓋」をしてしまったのです。皆さんも自分の心に「蓋」をして、諦めてしまったことはありませんか？皆さんは、誰もが伸びる力をもっています。だから、自分の心に「蓋」をせず、色々なことに挑戦してみてください。長い夏休み、ぜひ何か一つ、宿題以外に挑戦してみましよう。最後に「ノミとコップ」の話の続きです。この跳べなくなったノミをもとに戻す方法があるそうです。「どんな方法だと思いますか？」その答えは、2学期始業式の日に話しますのでお楽しみに！』と言って話を終わりました。

※ 7月18日(火)は、お忙しい中に学年・学級・個人懇談等にご出席いただき誠にありがとうございました。本年度から成績評価が2期制となりました。そのため通知表の発行が年2回(10月と3月)となり、戸惑われる保護者の方もおられると思います。学校の様子等でご心配なことがあれば、いつでも担任にお尋ねください。